

平成 26 年度 国公立薬理学関連教科担当教員会議 議事録

日時：平成 26 年 8 月 28 日（木） 13:30～16:30（含講演会）

場所：近畿大学・39 号館 5 階 501 号室

出席： 国公立大学（17 大学中 13 大学参加）

私立大学（57 大学中 52 大学参加）

薬理学関連教科担当教員会議委員 84 名

欠席： 薬理学関連教科担当教員会議委員 39 名

議長： 荻田 喜代一委員長（摂南大学）

配布資料：資料 1：出席者名簿

資料 2：会議次第

資料 3：平成 27 年度役員（案）および教員会議役員構成内規

資料 4：第 99 回薬剤師国家試験問題検討委員会（薬理）報告書

参考資料：国公立薬理学関連教科担当教員会議会則

別添資料 1：アンケートまとめ

別添資料 2：特別講演「薬学教育第三者評価について」資料

上記資料を保存した CD（各大学 1 枚）

1 新委員の紹介

荻田委員長から、審議に先立ち、以下の本年度新委員の紹介が行われた。

樋坂 章博（千葉大学大学院薬学研究院）

池谷 裕二（東京大学大学院薬学系研究科）

出雲 信夫（横浜薬科大学薬学部）

清水 俊一（横浜薬科大学薬学部）

平松 正行（名城大学薬学部）

波多野 紀行（愛知学院大学薬学部）

加藤 伸一（京都薬科大学薬学部）

森岡 徳光（広島大学大学院医歯薬保険学研究院）

水口 博之（徳島大学薬学部）

小松 生明（第一薬科大学薬学部）

2 次年度役員の選出について

荻田委員長より、資料 3 に基づき、平成 27 年度の新役員案が提案され、審議の結果、以下の様に原案どおり承認された。

平成 27 年度役員（任期：平成 27 年 1 月 1 日～12 月 31 日）

委員長	伊藤 芳久	（日本大学）
副委員長	橋本 均	（大阪大学）
副委員長	岩崎 克典	（福岡大学）
参与	池谷 裕二	（東京大学）
参与	武田 弘志	（国際医療福祉大学）
参与	小山 豊	（大阪大谷大学）
事務局	栗原 順一	（帝京大学）
事務局補佐	三澤 日出巳	（慶應義塾大学）

（事務局・栗原順一教授より国公立薬理学関連教科担当教員会議の名簿が出席者に回覧され、訂正並びに引退された先生等の氏名があれば削除してほしいとの依頼があった。）

3 第 99 回薬剤師国家試験問題検討委員会薬理部会の討論を終えて

赤木宏行教授より、平成 26 年 5 月 10 日に開催された本会議について、報告書（資料 4）に基づき、説明と解説がなされた。薬剤師国家試験の出題基準に合致しており、一部を除いて問題はないとの報告があった。

4 アンケート報告

荻田委員長より、本会議開催にあたり、各大学に事前に回答いただいた「薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に伴う薬理学関連教科に関するアンケート」をまとめた結果について別添資料 1 に基づき説明され、以下の様な意見交換が行われた。

① 教員数について

昭和大学：医学部の教員にも診療科ごとに授業を担当してもらっている為、教員数が多い旨の説明があった。

名城大学：薬物治療学の授業に化学や薬剤学担当の教員にも担当してもらっているため、教員数が多い旨の説明があった。

徳島文理大学：オムニバス形式の授業もあり、様々な教員に携わっている旨の説明があった。

② 現行授業について

昭和大学：附属病院が 8 施設あることから、それぞれの施設関連の薬と疾病の授業が沢山ある旨の説明があった。

東邦大学：各授業を細分化して分けている旨の説明があった（薬理 I：総論、薬理 II：自律神経など）。

新潟薬科大学：外部講師を呼んで最新の知見を入れ、化学構造式と合わせた薬理学、相互作用と副作用の授業等に分類わけしている旨の説明があった。

③ 新コアカリについて

広島国際大学：なるべく無駄な部分を減らそうと考えており、薬理・薬治を合併した統合型科目する予定である旨の説明があった。

福岡大学：生理解剖をまとめ、薬物治療の重複も多いため減らす予定である旨の説明があった。また、授業数の多さから学生に疲弊感が見えるため、負担を軽減しようと考えている旨の説明があった。

5 日本薬学会薬理系薬学部会の活動について

同部会長・福永浩司教授より、以下の点についてお願いならびに報告があった。

- ① 昨年度から設立された科研費の細目「薬理系薬学」への積極的な応募をお願いしたい。
- ② 薬理系薬学部会の活動として、生体機能と創薬シンポジウムおよび若手による次世代シンポジウムを開催しており、今後、日本薬学会に入会し、是非とも薬学部会に参加していただきたい。

6 次年度本会議の案内について

次期委員長・伊藤芳久教授から、来年度の教員会議は「生体機能と創薬シンポジウム」と合同で本年と同じ時期に日本大学薬学部にて開催予定である旨が報告された。また、今年度のアンケートを受け、来年度もアンケートを予定している旨、案内と協力依頼があった。

特別講演「薬学教育第三者評価について」

薬学教育評価機構アドバイザー、立命館大学教学部の山田勉氏を講師にお迎えし、①大学評価と質保証、②薬学教育評価の特徴、③平成25年度本評価結果などについて解説があった。

尚、本会議終了後、近畿大学・11月ホール・地下1階「Cafeteria November」にて「生体機能と創薬シンポジウム」との合同懇親会が開催された。会員相互の交流、意見・情報の交換が活発に行われた。

以上

平成26年9月2日
委員長 荻田 喜代一

平成26年度国公立薬理関連教科担当教員会議次第

開催日：平成26年8月28日（木）

場 所：近畿大学薬学部（東大阪キャンパス 39号館 5階）

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

会 議 次 第

I. 役員会（11時30分～12時30分、502教室）

II. 本会議（13時30分～15時00分、501教室）

① 委員長挨拶

② 新委員紹介

③ 次年度役員の選出について

④ 第99回薬剤師国家試験問題検討委員会薬理部会議を終えて
（広島国際大学薬学部 赤木宏行）

⑤ アンケート報告

（摂南大学薬学部 荻田喜代一）

⑥ 日本薬学会薬理系薬学部会の活動について

（東北大学大学院薬学研究科 福永浩司）

⑦ 次年度本会議の案内

（日本大学薬学部 伊藤芳久）

休 憩（15時00分～15時20分）

III. 特別講演（15時20分～16時30分、501教室）

「薬学教育第三者評価について」

（薬学教育評価機構アドバイザー、立命館大学教学部 山田 勉）

IV. 懇親会（18時30分～20時30分）

会場：11月ホール地下1階「Cafeteria November」

（生体機能と創薬シンポジウム2014と合同）

お願い：本会議の前後に、シンポジウムのポスター発表のディスカッションをお願い申し上げます。また、シンポジウム特別講演（17時15分～18時15分、302教室）も聴講いただければ幸いです。

平成26年度国公立薬理学関連教科担当教員会議

委員長 荻田喜代一

事務担当 山口太郎

摂南大学 薬学部 薬理学研究室

〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1

Tel&Fax: 072-866-3109

成26年度国公立薬理学関連教科担当教員会議 出席

委員氏名	所 属
南 雅文	北海道大学大学院薬学研究院 生化学の神経薬理学
平藤 雅彦	北海道医療大学薬学部 薬理学講座
佐藤 久美	北海道薬科大学 薬学科基礎薬学系薬理学分野
弘瀬 雅教	岩手医科大学薬学部 分子細胞薬理学講座
福永 浩司	東北大学大学院薬学研究科 薬理学
丹野 孝一	東北薬科大学 薬理学教室
高田 芳伸	奥羽大学薬学部 薬理学教室
林 正彦 松本司(代理)	いわき明星大学薬学部 創薬分子薬理学
武田 弘志	国際医療福祉大学薬学部 薬理学分野
吉田 真	高崎健康福祉大学薬学部 病態生理学研究室
岡崎 真理	城西大学薬学部 薬品作用学研究室
土肥 敏博	日本薬科大学薬学部 生命医療薬学分野 薬物治療学
田辺 光男	北里大学薬学部 薬理学教室
石井 邦雄	北里大学薬学部 分子薬理学教室
三澤 日出巳	慶応大学薬学部 薬理学講座
鈴木 岳之	慶応大学薬学部 基礎生物学講座
堀江 俊治	城西国際大学薬学部 薬理学講座
本田 一男	昭和大学薬学部 薬理学教室
渡邊 泰男	昭和薬科大学 薬理学教室
村山 俊彦	千葉大学大学院薬学研究院 薬効薬理学
大熊 康修	千葉科学大学薬学部 薬理学教室
栗原 順一	帝京大学薬学部 臨床薬学講座 医薬品作用学研究室
石井 竹夫	帝京平成大学薬学部 薬学科 薬物治療研究班
田野中 浩一	東京薬科大学薬学部 分子細胞病態薬理学教室
立川 英一	東京薬科大学薬学部 内分泌・神経薬理学教室
岡 淳一郎	東京理科大学薬学部 薬理学研究室
磯濱 洋一郎	東京理科大学薬学部 応用薬理学研究室
田中 光	東邦大学薬学部 薬物学教室
田中 芳夫	東邦大学薬学部 薬理学教室

伊藤 芳久	日本大学薬学部 薬理学研究室
石毛 久美子	日本大学薬学部 薬理学研究室
成田 年 葛巻直子(代理)	星薬科大学 薬理学教室
鈴木 勉 森友久(代理)	星薬科大学 薬品毒性学教室
阿部 和穂	武蔵野大学薬学部 薬理学研究室
大石 一彦	明治薬科大学 薬理学教室
菱沼 滋	明治薬科大学 薬効学教室
出雲 信夫	横浜薬科大学薬学部 臨床薬理学研究室
清水 俊一	横浜薬科大学薬学部 臨床薬理学研究室
石川 智久	静岡県立大学薬学部 薬理学分野
尾崎 昌宣	新潟薬科大学 薬効安全性学教室
前田 武彦	新潟薬科大学 薬効薬理学
安東 嗣修	富山大学薬学部 応用薬理学
米田 幸雄	金沢大学大学院自然科学研究科 薬物学
大本 まさのり	北陸大学薬学部 臨床薬学教育センター
高橋 達雄	北陸大学薬学部 医療薬学
今泉 祐治	名古屋市立大学大学院薬学研究科 細胞分子薬効解析学
野田 幸裕	名城大学薬学部 病態解析学 I
平松 正行	名城大学薬学部 病態解析学 I
波多野 紀行	愛知学院大学薬学部 薬効解析学
堀田 芳弘	金城学院大学薬学部 薬学科
稲垣 直樹	岐阜薬科大学 薬理学研究室
原 英彰	岐阜薬科大学 薬効解析学研究室
服部 尚樹	立命館大学薬学部 臨床薬理学研究室
赤池 昭紀	京都大学大学院薬学研究科 薬品作用解析学
加藤 伸一	京都薬科大学 病態薬科学系 薬物治療学分野
藤井 健志	同志社女子大薬学部 医療薬学科 薬理学研究室
土田 勝晴	同志社女子大薬学部 創薬理論科学研究室
樋口 善博	鈴鹿医療科学大学薬学部 薬理学研究室
橋本 均	大阪大学大学院薬学研究科 神経薬理学
小山 豊	大阪大谷大学薬学部 薬理学講座

松村 靖夫	大阪薬科大学 病態分子薬理学研究室
大野 行弘	大阪薬科大学 薬品作用解析学研究室
川畑 篤史 中山隆志(代理)	近畿大学薬学部 病態薬理学研究室
荻田 喜代一	摂南大学薬学部 薬理学研究室
屋山 勝俊	神戸学院大学薬学部 生命薬学部門 薬理学研究室
中村 一基	武庫川女子大学薬学部 薬理学 I 教室
西山 信好	兵庫医療大学薬学部
上原 孝	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 薬効解析学
見尾 光庸	就実大学薬学部 薬効解析学分野
西尾 廣昭	福山大学薬学部 応用薬理学教室
赤木 宏行	広島国際大学薬学部 分子細胞薬理学教室
亀井 千晃	安田女子大学薬学部
水口 博之	徳島大学薬学部 分子情報薬理学
伊藤 康一 得丸博史(代理)	徳島文理大学香川薬学部 薬物治療学講座
赤木 正明	徳島文理大学薬学部 薬理学教室
古川 美子	松山大学薬学部 薬理学研究室
黒瀬 等	九州大学大学院薬学研究院 薬効安全性学
櫻田 司	第一薬科大学薬学部 薬品作用学研究室
小松 生明	第一薬科大学薬学部 薬品作用学研究室
岩崎 克典	福岡大学薬学部 臨床疾患薬理学教室
山本 経之 山口拓(代理)	長崎国際大学薬学部 薬理学研究室
山本 経之 山田勝士(代理)	長崎国際大学薬学部 薬理学研究室
香月 博志	熊本大学大学院生命科学研究所 薬物活性学分野
比佐 博彰	九州保健福祉大学薬学部 薬理学第2講座